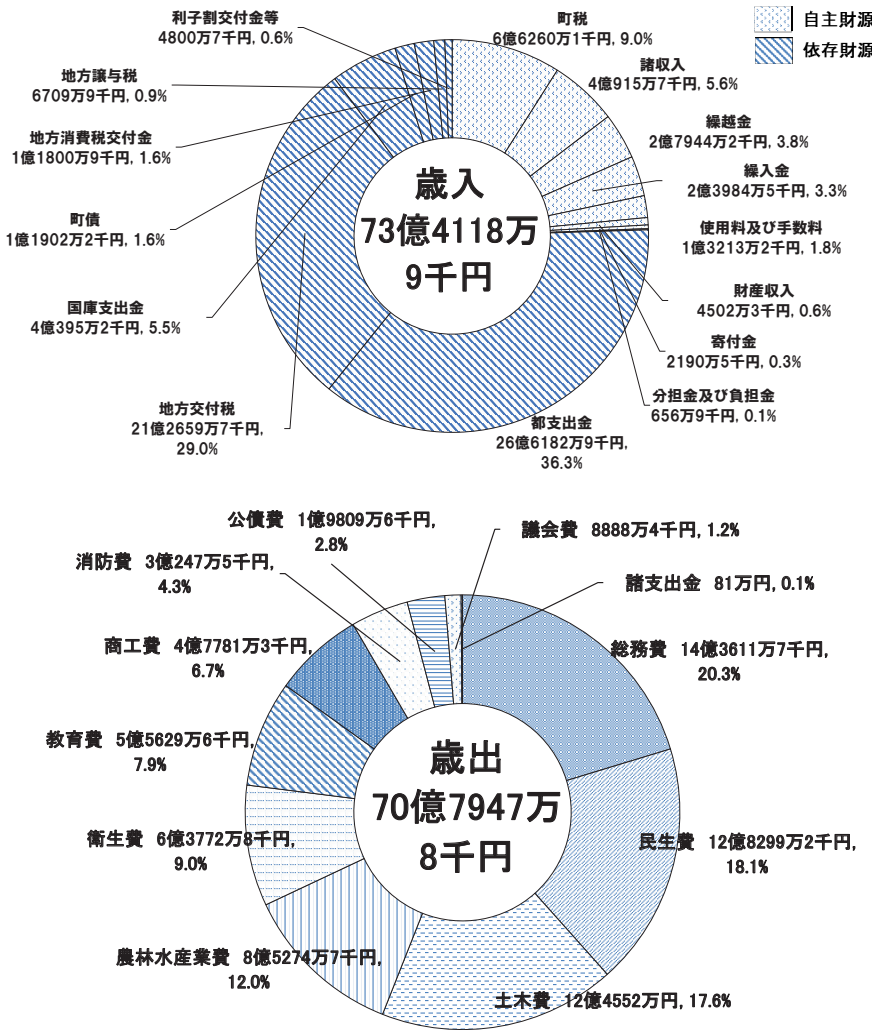


令和5年度決算が認定されました

令和5年度決算が9月開催の町議会定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。

〔一般会計〕令和5年度の一般会計決算額は、歳入が73億4118万9千円、歳出が70億7947万8千円で、収支差引額は2億6171万1千円、翌年度繰越財源76万7千円を除いた実質収支額は2億6094万4千円となりました。前年度に比べて、歳入額は3.7%の減、歳出額は3.6%の減となりました。

【令和5年度一般会計決算額および構成比】



【歳入】新型コロナウイルス感染症対策への交付金の減などにより国庫支出金が大きく減となりましたが、依存財源合計は55億4千5百万円、歳入全体の75%に達しました。対して、自主財源で最も大きい町税は、前年度から2千1百万円の減となりました。例年、町の歳入に占める自主財源の割合は、全国と同規模町村と比べても低い値となっています。

【歳出】新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰への対応として国の交付金を活用し、低所得者や介護・障害福祉事業所への給付事業などを行ったほか、道路新設事業の増などがありました。令和元年台風第19号の被害による災害復旧費が令和4年度をもって完了したこと、教育関連施設の改修工事が減となったことなどにより、歳出総額は、前年度と比較して2億6千2百万円の減となったものの、5年連続で70億円を超える歳出となりました。

【町税収入の推移】

